

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年6月4日(2009.6.4)

【公表番号】特表2008-541948(P2008-541948A)

【公表日】平成20年11月27日(2008.11.27)

【年通号数】公開・登録公報2008-047

【出願番号】特願2008-514830(P2008-514830)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/02 (2006.01)

A 6 1 F 2/04 (2006.01)

A 6 1 F 2/06 (2006.01)

A 6 1 F 2/84 (2006.01)

A 6 1 L 31/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 2/02

A 6 1 F 2/04

A 6 1 F 2/06

A 6 1 M 29/00

A 6 1 L 31/00

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月15日(2009.4.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

移植可能なアセンブリであって、

近位端および遠位端を有する第 1 の移植可能なデバイスであって、該第 1 の移植可能なデバイスは該近位端にループを備えている、第 1 の移植可能なデバイスと、

該第 1 の移植可能なデバイスの該近位端のループに連結する第 2 のループであって、該第 2 のループは金属を備えている、第 2 のループと

を備えている、移植可能なアセンブリ。

【請求項 2】

前記第 2 のループは、近位端および遠位端を有する電氣的に絶縁されたプッシュワイヤの遠位端から形成され、該電氣的絶縁は、該第 2 のループの少なくとも一部分から除去されて、該第 2 のループに電気分解によって腐食可能な領域を形成する、請求項 1 に記載の移植可能なアセンブリ。

【請求項 3】

前記第 2 のループは、第 2 の移植可能なデバイスの遠位端にある、請求項 1 に記載の移植可能なアセンブリ。

【請求項 4】

前記第 1 の移植可能なデバイスは、脈管閉塞デバイスを備えている、請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の移植可能なアセンブリ。

【請求項 5】

前記脈管閉塞デバイスはコイルを備えており、該コイルは金属を備えている、請求項 4 に記載の移植可能なアセンブリ。

【請求項 6】

前記金属は、白金、パラジウム、ロジウム、金、タングステンおよびそれらの合金からなるグループから選択される、請求項 5 に記載の移植可能なアセンブリ。

【請求項 7】

前記金属は、ステンレス鋼または超弾性の金属の合金である、請求項 5 に記載の移植可能なアセンブリ。

【請求項 8】

前記脈管閉塞デバイスは、管状のブレードを備えている、請求項 3 に記載の移植可能なアセンブリ。

【請求項 9】

前記第 1 の移植可能なデバイスは、ポリマーコーティングをさらに備えている、請求項 1 ～ 8 のいずれかに記載の移植可能なアセンブリ。

【請求項 10】

前記ポリマーは生分解性材料である、請求項 9 に記載の移植可能なアセンブリ。

【請求項 11】

第 1 および第 2 の端部を有する引張り部材をさらに備え、該第 1 の端部は前記電氣的に絶縁されたプッシュワイヤに取り付けられる、請求項 2 に記載の移植可能なアセンブリ。

【請求項 12】

前記第 1 の移植可能なデバイスの前記近位端の前記ループは電氣的に絶縁される、請求項 1 ～ 11 のいずれかに記載の移植可能なアセンブリ。

【請求項 13】

前記第 2 のループは電氣的に絶縁される、請求項 12 に記載の移植可能なアセンブリ。

【請求項 14】

前記第 2 の移植可能なデバイスは、らせん状に巻かれた脈管閉塞コイルを備えている、請求項 3 ～ 10、12 または 13 のいずれかに記載の移植可能なアセンブリ。

【請求項 15】

前記第 2 の移植可能なデバイスは電氣的に絶縁される、請求項 3 ～ 10、12、13 または 14 のいずれかに記載の移植可能なアセンブリ。

【請求項 16】

プッシュワイヤをさらに備えている、請求項 3 ～ 10、12、13、14 または 15 のいずれかに記載の移植可能なアセンブリ。

【請求項 17】

前記プッシュワイヤは前記第 2 の移植可能なデバイスに取り付けられる、請求項 16 に記載の移植可能なアセンブリ。

【請求項 18】

前記第 2 の移植可能なデバイスの近位に電気分解によって腐食可能な分離接合部をさらに備えている、請求項 3 ～ 10 または 12 ～ 17 のいずれかに記載の移植可能なアセンブリ。

【請求項 19】

前記電気分解によって腐食可能な分離接合部の遠位に貴金属をさらに備えている、請求項 18 に記載の移植可能なアセンブリ。

【請求項 20】

前記貴金属は金または白金である、請求項 19 に記載の移植可能なアセンブリ。

【請求項 21】

前記らせん状に巻かれた脈管閉塞コイルは、該らせん状に巻かれた部分によって作られるルーメンの少なくとも一部を通して延びる真っすぐな部分をさらに備えている、請求項 14 ～ 20 のいずれかに記載の移植可能なアセンブリ。

【請求項 22】

前記コイルのらせん状の巻きのうちの少なくとも 1 つは、前記真っすぐな部分に接触する、請求項 21 に記載の移植可能なアセンブリ。

【請求項 23】

前記真っすぐな部分に接触し、前記第2の移植可能なデバイスの前記らせん状の巻きのうちの2番目に少ないもののルーメンの少なくとも一部分を通して延びる追加のらせん状に巻かれたコイルをさらに備えている、請求項21に記載の移植可能なアセンブリ。

【請求項 24】

前記第2のループは、

該第2のループから近位に延びる真っすぐな部分と、

該真っすぐな部分に対して巻かれているらせん状に巻かれたコイルと

をさらに備えている、請求項3～10または12～23のいずれかに記載の移植可能なアセンブリ。

【請求項 25】

第1および第2の端部を有する引張り部材をさらに備え、該第1の端部は前記プッシュワイヤに取り付けられ、さらに、該プッシュワイヤは電氣的に絶縁される、請求項16～24のいずれかに記載の移植可能なアセンブリ。

【請求項 26】

請求項1～25のいずれかに記載の移植可能なアセンブリであって、該アセンブリは、体の空洞に導入されることにより、該体の空洞を閉塞する、移植可能なアセンブリ。

【請求項 27】

前記体の空洞は動脈瘤である、請求項26に記載の移植可能なアセンブリ。